



2013-2014 年  
RI会長 ロン パートン  
第 2640 地区ガバナー 久保治雄



# 海南東ロータリークラブ

## ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

## 第 1785 回例会

平成 26 年 4 月 21 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F

### 1. 開会点鐘

### 2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

### 3. ゲスト紹介

関西マナープロモート 出井 和子 様

### 4. 出席報告

会員総数 50 名 出席者数名 34 名

出席率 68 % 前回修正出席率 68 %

### 5. 会長スピーチ



会長 小椋 孝一 君  
皆さん、こんにちは。今日  
のゲスト卓話は、関西マ  
ナープロモート・出井和子  
さんによる「ビジネスマ  
ナー研修」についてであり  
ます。皆さんご静聴くださ  
い。先週 19 日(土)に田辺東  
ロータリークラブ 40 周年記  
念ゴルフコンペに宇恵さん、  
桑添さん、谷脇さん、そし

て私、出席ご苦勞様でした。

さて、今月は雑誌月間ですと話しましたが、もう少し  
「ロータリーの友」について話したいと思います。

1952(昭和 27)年 4 月、第 60 地区の大会が開催さ  
れました。同年 7 月に迎える新年度(1952-53 年度)  
から、日本の地区は、東日本と西日本の 2 地区に分割  
されることに決定されていまして、主催者も参加  
者も、共に深い感慨をもって臨んだ特別な地区大会で  
した。この地区大会では、いくつかの問題が話し合わ  
れましたが、その一つに、日本の 2 地区で共通の雑誌  
を発行するとの決定がありました。これまで共に活動  
をしてきた日本のロータリアンが、分割されてからも  
緊密に連絡を取り合い、情報を共有するための機関誌  
として、企画されたのです。

第 1 回の準備大会は大阪で、当時の星野行則ガバナ  
ーと露口四郎氏(共に大阪ロータリークラブ)が幹事  
役となって、東京、横浜、京都、大阪、神戸の各クラ

ブの代表者が出席して開催されました。

『ロータリーの友』と命名

新しい雑誌について本格的にいろいろなことが決  
められたのは、同年 8 月 16 日、岐阜県の長良川河畔  
にあった大竹旅館での会合においてです。1953(昭和  
28)年 1 月から、毎月発行すること、価格を 50 円と  
するが、広告を取って 100 円分の内容のある雑誌とす  
ること、名前を『ロータリーの友』とすることなどが  
決定されました。

また、この会合では、新しい雑誌を縦書きにするか  
横書きにするかで意見が分かれ、全会員による一般投  
票を行ったところ、2 対 1 の割合で、横書きが採用さ  
れることになりました。戦後 10 年もたっていなかつ  
たという時代背景を考えると、この結果は、当時のロ  
ータリアンが、いかに先進的な考えを持っていたかを  
知ることでできるエピソードです。

岐阜での会合で、広告を取ることが決定したもの、  
当初は発行部数が 3,300 部にすぎなかったこと、また  
戦後の混乱が少し落ち着いたというものの、まだまだ  
経済的には厳しかったこともあり、広告のスポンサー  
を見つけることは容易なことではありませんでした  
が、創刊に携わったロータリアン自らが走り回り、苦  
労して広告を取ったという逸話が残っています。  
創刊号の富士山の表紙は、その後『ロータリーの友』  
にも、何回か写真を載せましたので、ご存じの方も多  
いと思いますが、実はこの表紙、1 月号から 6 月号ま  
で、絵柄は全く同じものでした。北斎の「凱風快晴」  
という題の作品です。ちなみに、8 月号から 9 月号新  
しい雑誌について本格的にいろいろなことが決めら  
れたのは、同年 8 月 16 日、岐阜県の長良川河畔にあ  
った大竹旅館での会合においてです。1953(昭和 28)  
年 1 月から、毎月発行すること、価格を 50 円とする  
が、広告を取って 100 円分の内容のある雑誌とす  
ること、名前を『ロータリーの友』とすることなどが決定  
されました。

### 6. 幹事報告

幹事 大谷 徹 君

○例会臨時変更のお知らせ

岩出 RC 5 月 8 日(木) → 5 月 11 日(日)

8:30～ 貴志川 お池荘

ウオークラリー&早朝例会

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 小椋 孝一

幹事: 大谷 徹

SAA: 重光 孝義

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail: [info@kainaneast-rc.jp](mailto:info@kainaneast-rc.jp)

和歌山南RC 5月16日(金) → 5月16日(金)  
12:30～ ルミエール華月殿  
第4回 IDM 発表  
田辺東RC 5月21日(水) → 5月17日(土)  
12:30～ ガーデンホテル ハナヨ  
40周年記念例会

#### ○休会のお知らせ

田辺東RC 4月30日(水)  
岩出RC 5月1日(木)  
有田RC 5月1日(木)  
和歌山城南RC 5月1日(木)  
和歌山東RC 5月1日(木)  
高野山RC 5月2日(金)  
和歌山南RC 5月2日(金)

#### 7. ゲスト卓話

##### 「ビジネスマナー研修」

関西マナープロモート 出井 和子 様



マナーという言葉は、普段私達もよく聞く言葉です。では、マナーとはどういう事をマナーと言うのでしょうか。礼儀正しく振る舞うこと、これがマナーなのでしょうか。

そうではないのです。マナーとは自分の為のものではなく、相手ありき、あいての為のものなのです。

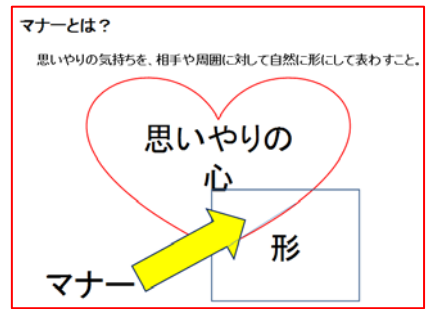
相手のことを思いやる心、気持ちからはじまって、その心、気持ちを形にして表わしたものが、これがマナーなのです。いくら心の中で相手の事を思っている、その心、気持ちを態度に表わさなければ相手には伝わりません。相手を思いやる心を、形ある行動に表わし、マナーある社会に、優しい社会にしていきましょう。

紀の国わかやま国体も、いよいよ来年2015年(平成27年)に開催されます。和歌山におこしたく皆様に、どうぞおもてなしの心、気持ちを形に表わしてお伝えいただきたいと思います。

第一印象はなぜ大切なのでしょう。それは、後の人間関係にとっても大きな影響を及ぼすものだからです。第一印象で良いイメージ、印象を与えることができれば、その後の関係はとてもスムーズに進みます。この反対にあまり良くない印象をもたれてしまうと、その印象を取り除くのはとても困難です。一度もたれた印象は後々まで影響します。ではこの第一印象を私達はどのように決めているのでしょうか。アメリカの心理学者でメラビアンという博士が見いだした「メラビアンの法則」によりますと、私達は相手の第一印象を、視覚情報により55%、聴覚情報により38%、話の内容が7%だといわれています。いかに私達は視覚情報、相手の態度や身だしなみによって第一印象を決めているかという事です。又その第一印象は、会って6秒、一瞬にして決まるものであるとも言われてい

ます。それでは、ここでそのとても大切な第一印象をアップさせることができる5原則をご紹介します。その1つ目は表情(笑顔)です。笑顔は私達

の第一印象に大きく影響します。この笑顔のポイントですが、口元の口角です。口角が上がっているか、下がっているかで顔の表情が全く違ってきます。笑顔はこの口元の口角を上げることです。次は2つ目、これは挨拶です。挨拶の目的はコミュニケーションです。そして挨拶は、会話のきっかけを作ります。3つ目は、身だしなみです。身だしなみは、1に清潔、そして清潔感が感じられるという事です。又、おしゃれの視点は自分ですが、身だしなみの視点は他人です。TPOを考え自分の身を整えること、これが身だしなみなのです。4つ目は言葉遣いです。言葉遣いのづかいは、私は心遣いのづかいだと思っています。相手を思いやった言葉で話すと言うことが大切です。5つ目は態度です。態度は、相手の方を受け入れていますという態度が大切です。又、態度の基本は姿勢です。姿勢が良いとすべての態度が美しく見えますし、品格も良く見え、ビジネスの上でも高い信頼感を相手に与えることができます。以上が第一印象アップの5原則です。是非参考にして頂き、更に素晴らしい人間関係を築いて頂ければと思います。



#### 8. 閉会点鐘

次回例会

第1786回例会 平成26年3月31日(月)

海南商工会議所 4F 12:30～

会員卓話 宮田 貞三 君



**ニコニコ・BOX**

小椋 孝一 君	出井和子さん 本日の卓話宜しくお願ひします。
大谷 徹 君	本日、出井さん卓話ありがとうございます。
山名 正一 君	出井様、ご苦労様です。本日、宜しくお願ひ致します。
桑添 剛 君	田辺東RC 40周年記念ゴルフコンペに参加して来ました。
宇恵 弘純 君	〃
谷脇 良樹 君	〃
小椋孝一 君	〃

**4月は雑誌月間です**